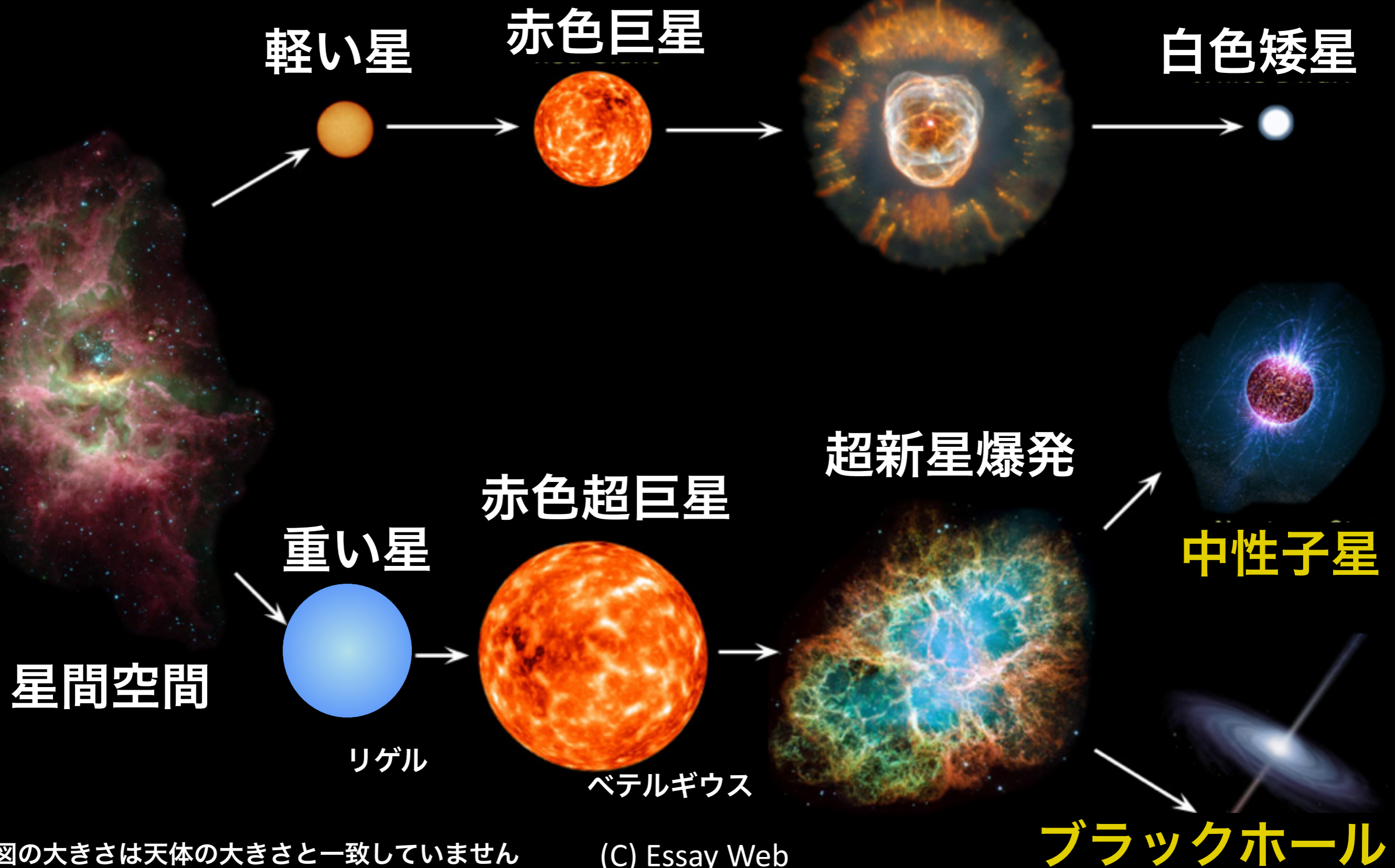


Section 7. 星の進化 (2)

7.1 状態方程式

7.2 星の進化経路

星の一生



図の大きさは天体の大きさと一致していません

(C) Essay Web



なぜ星の「運命」は質量で変わるのか？

ガスのミクロな性質が重要

レポート課題 2

- 2a. マクスウェル分布から理想気体の圧力の式を導け
- 2b. 電子が非相対論的、超相対論的などときの縮退圧の式を導き、実際に数字を入れて計算せよ
- 2c. プランク関数から輻射圧の式を導け

レポート課題 3

3a. 密度 - 温度平面で

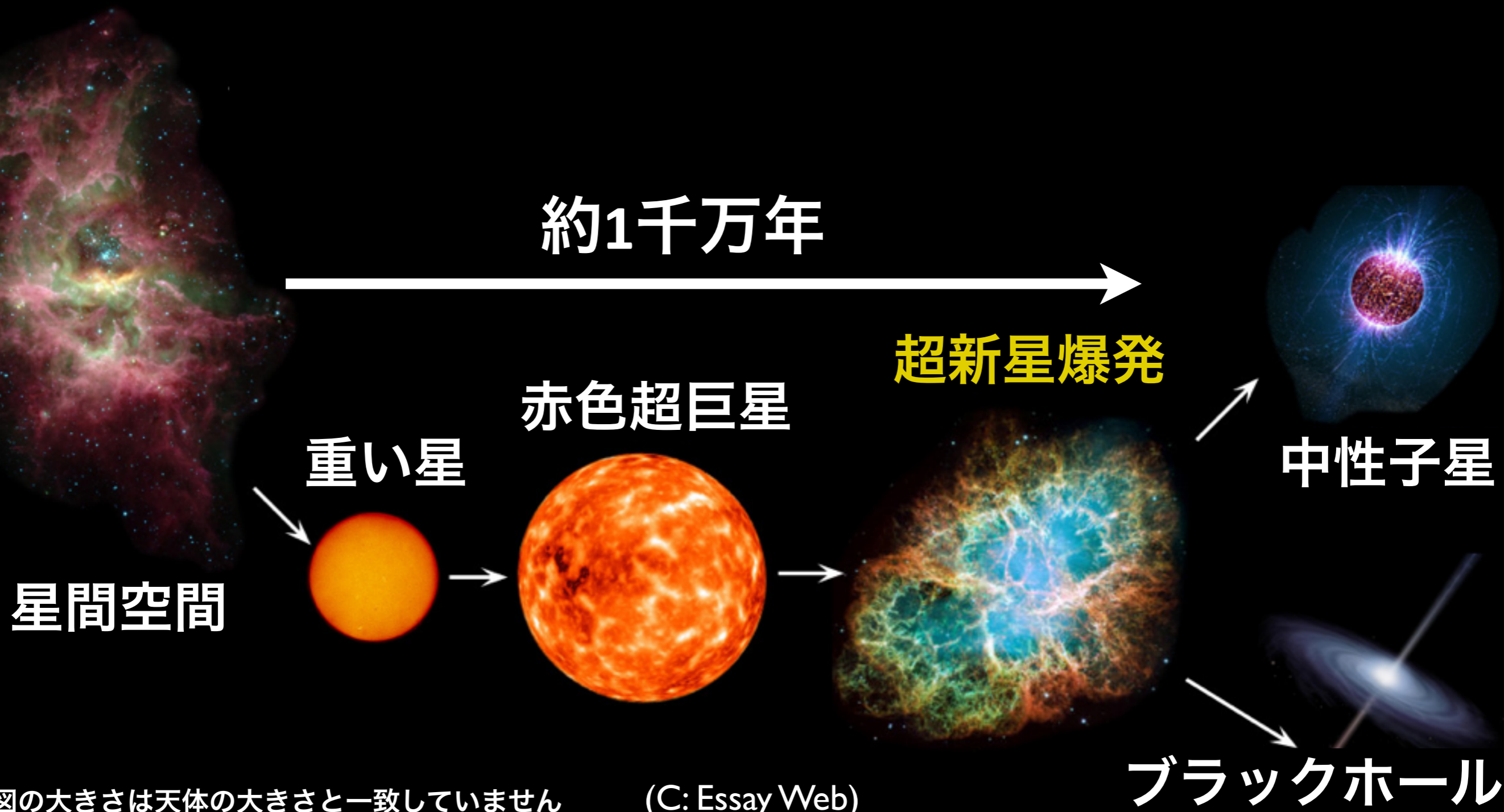
- 理想気体のガス圧
- 電子の縮退圧 (非相対論的)
- 電子の縮退圧 (超相対論的)
- 輻射圧

がそれぞれ支配的になる境界を求め、図示せよ

3b. 太陽の中心温度を $T = 10^7$ K、中心密度を $\rho \sim 150 \text{ g cm}^{-3}$ として、
1 Msun と 10 Msun の星の中心部の進化を密度-温度平面に示せ。
ただし、進化でコアの質量が変化する効果は無視して良い。

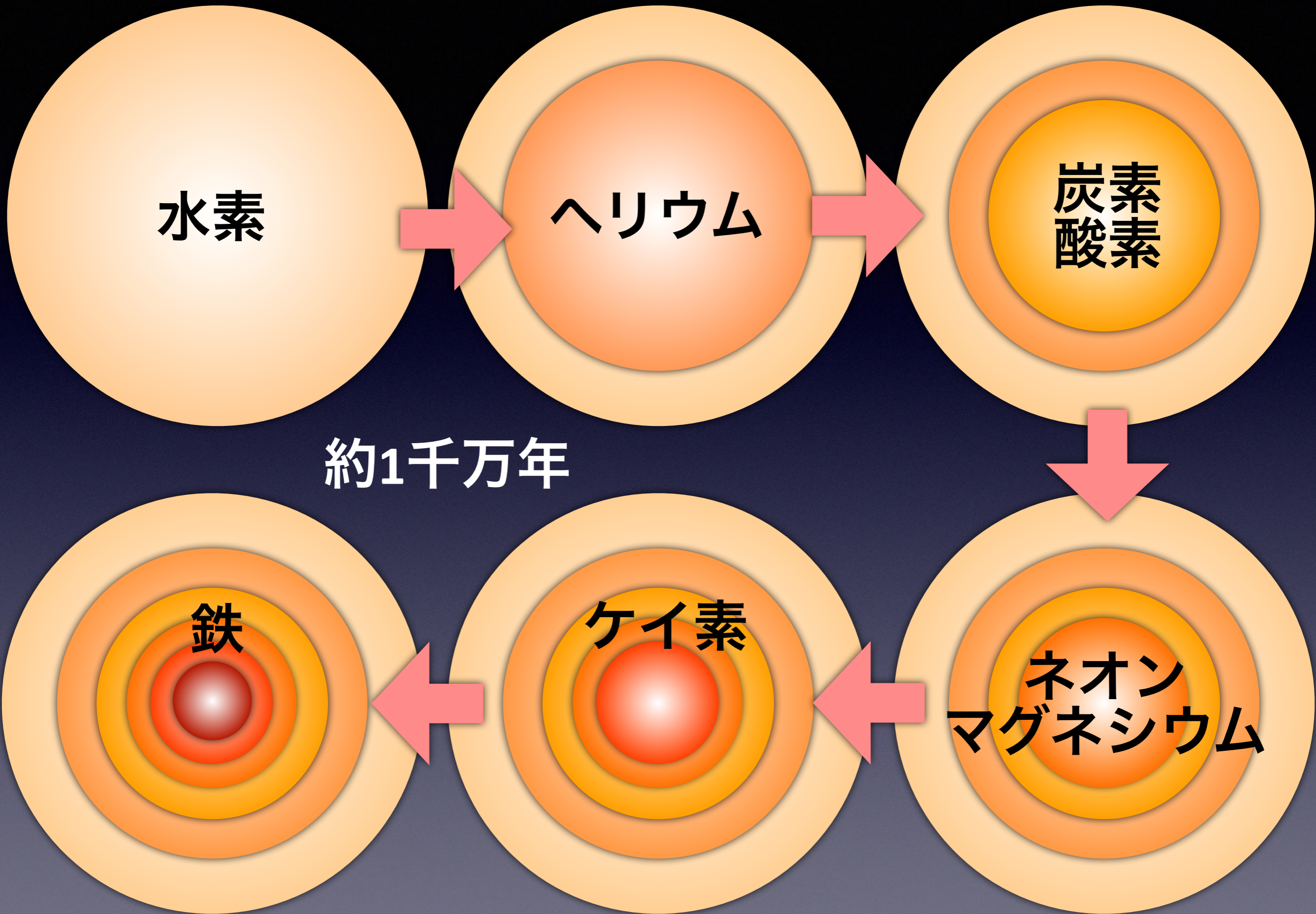
1. 重い星の場合

* 太陽の10倍以上

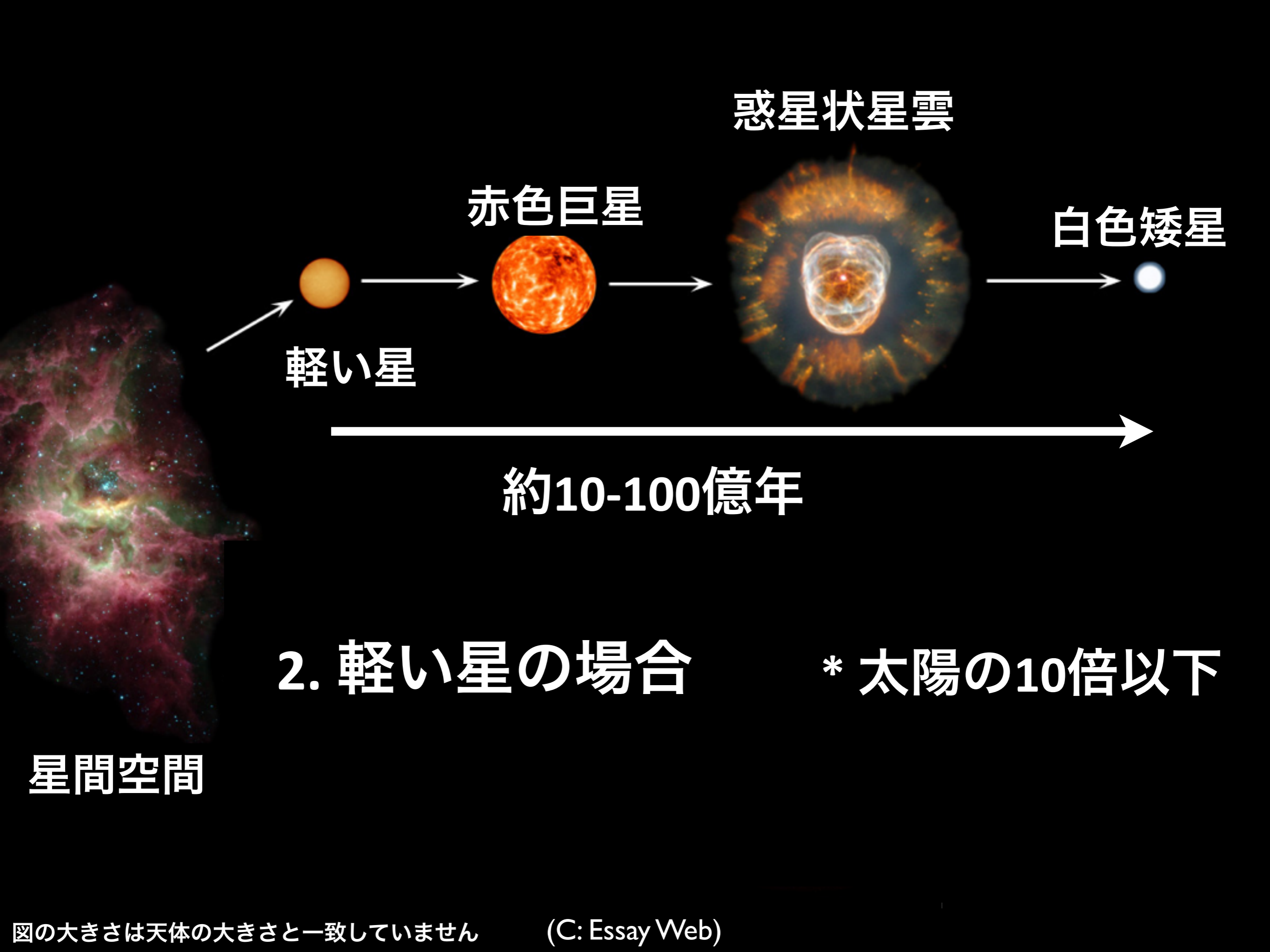


図の大きさは天体の大きさと一致していません

(C: Essay Web)

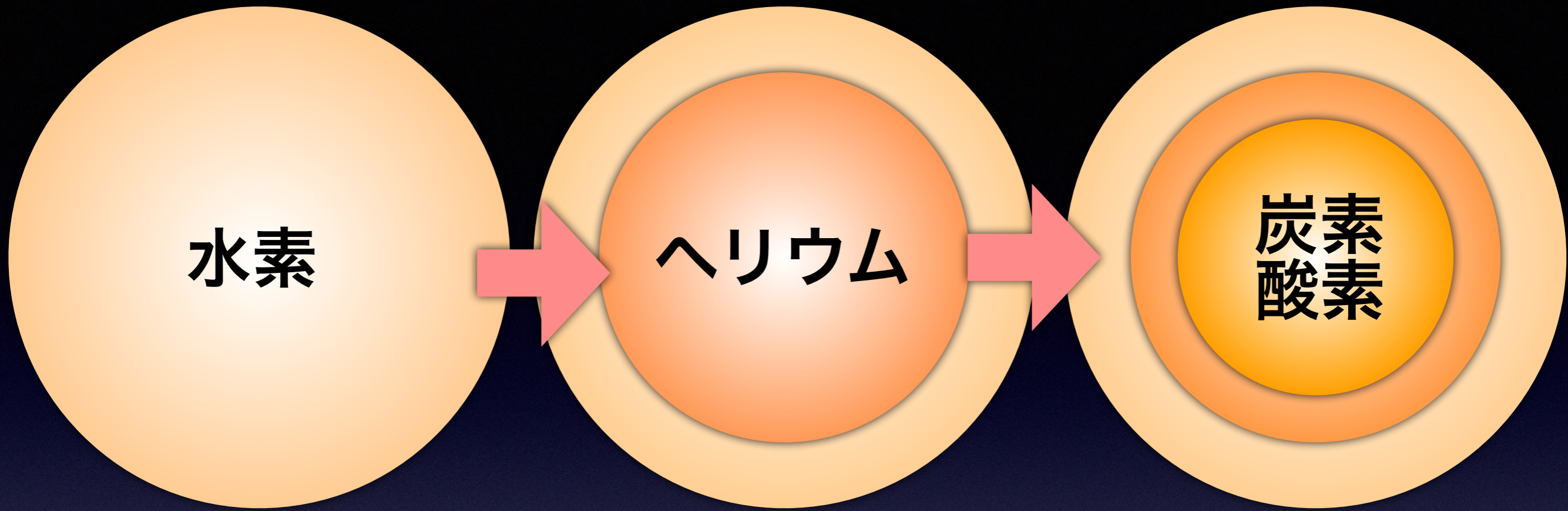


図の大きさは天体の大きさと一致していません



図の大きさは天体の大きさと一致していません

(C: Essay Web)



水素

ヘリウム

炭素
酸素

炭素
酸素

白色矮星

約10-100億年

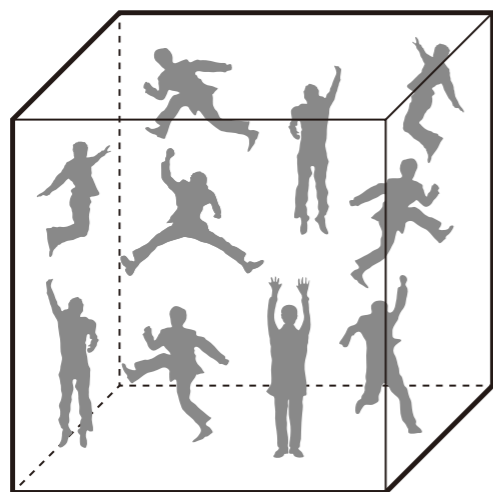
何も起きない

図の大きさは天体の大きさと一致していません

白色矮星: 縮退圧で支えられた星

普通の気体の圧力

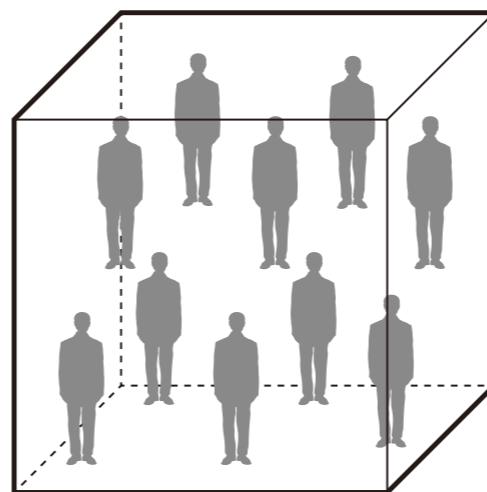
Ideal gas



温度を下げる



T decreases



圧力が下がる

縮退圧

Degeneracy pressure

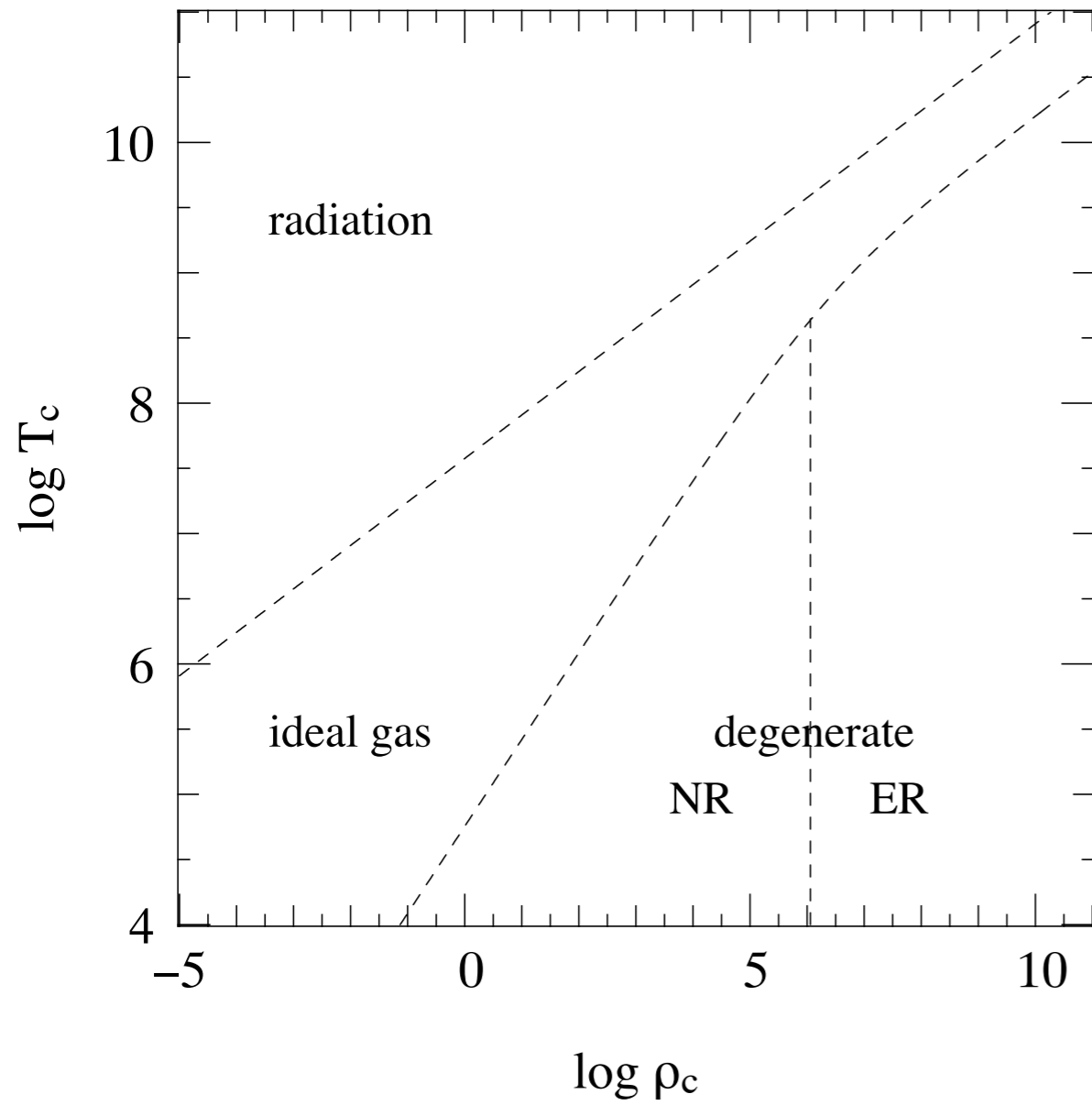


温度がゼロでも圧力が生まれる

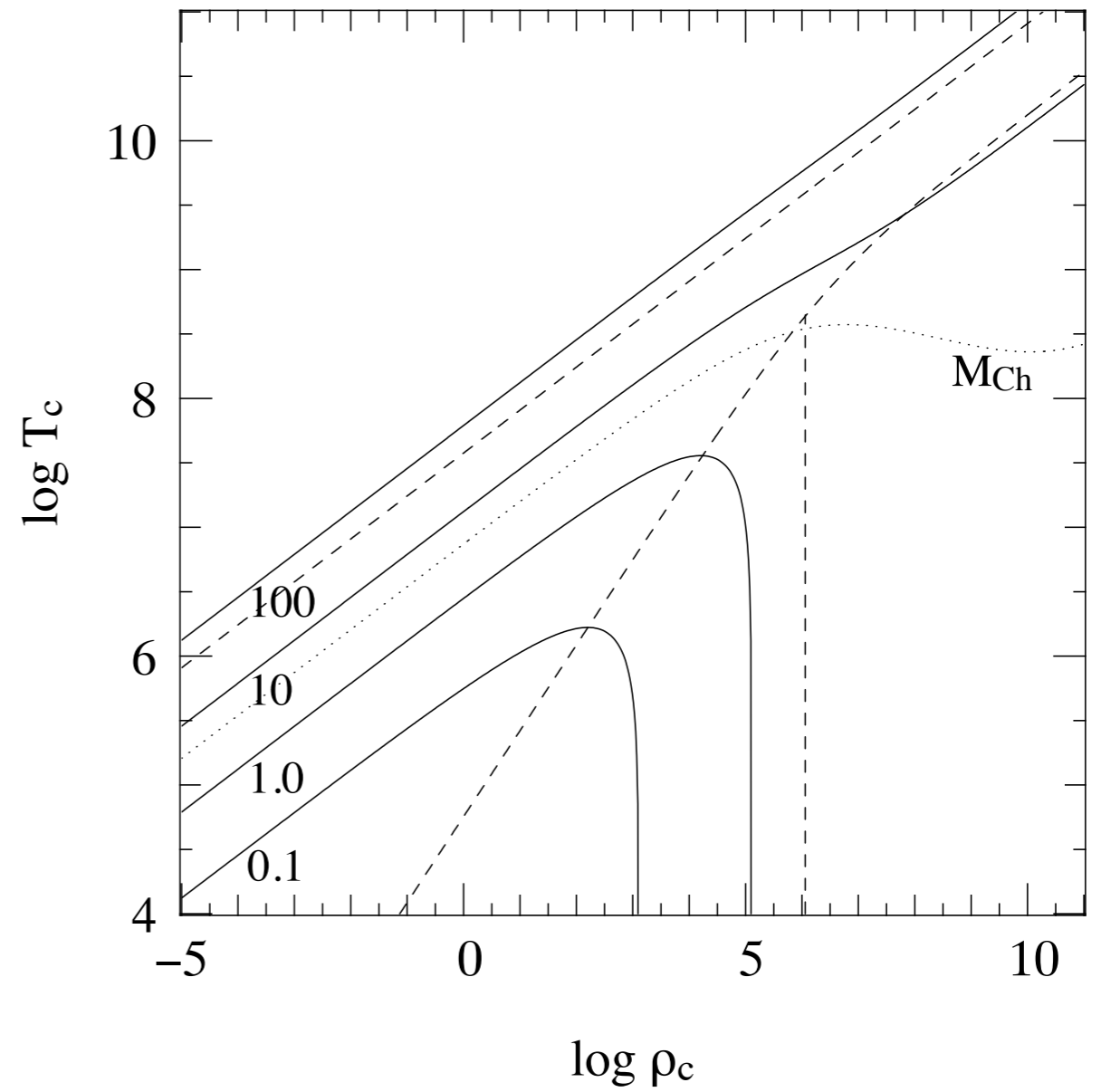
温度がゼロでも
圧力はゼロにならない

星が「死ぬ」とはどういうことか
(ベレ出版)

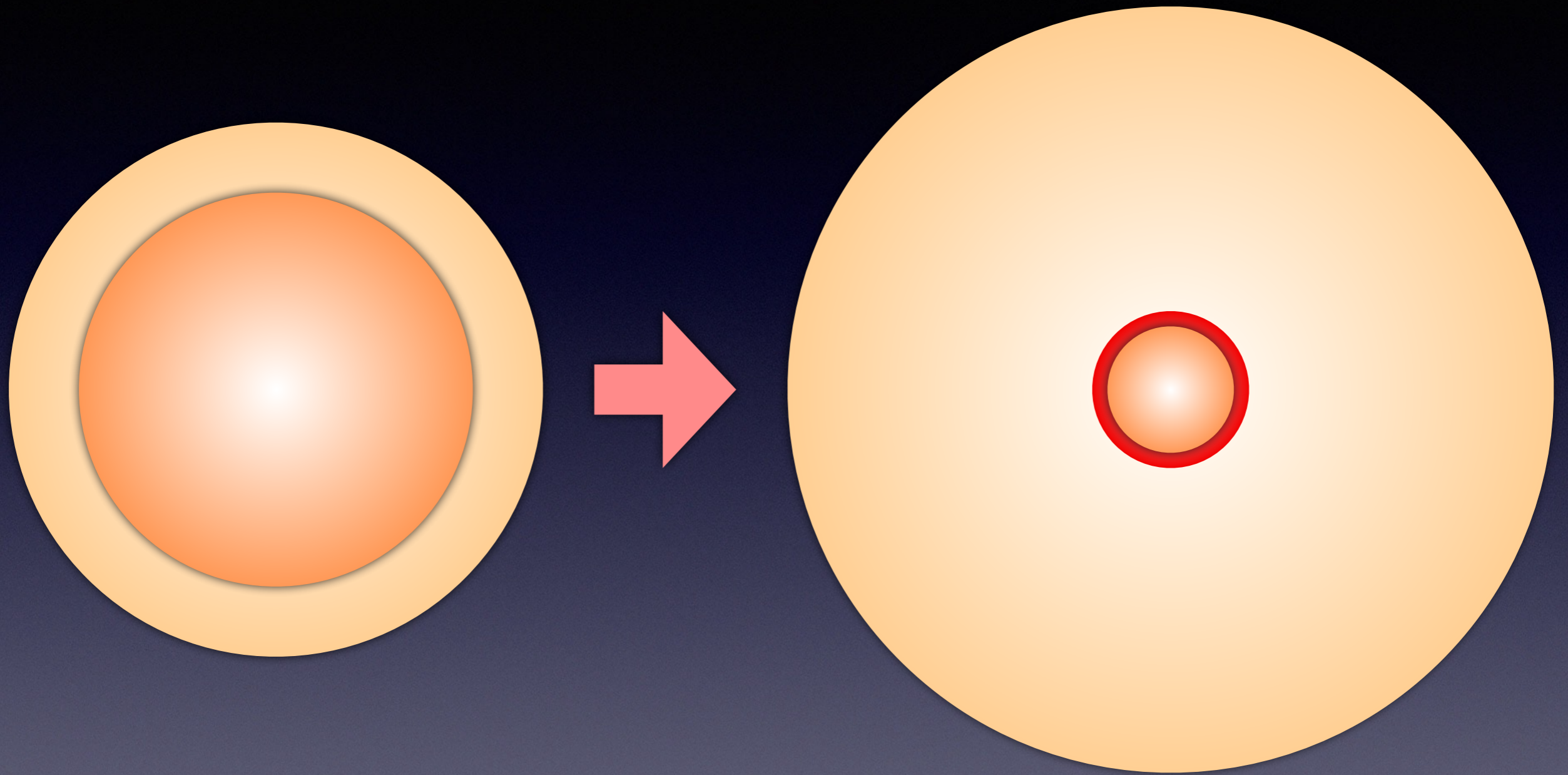
状態方程式



進化経路の概略

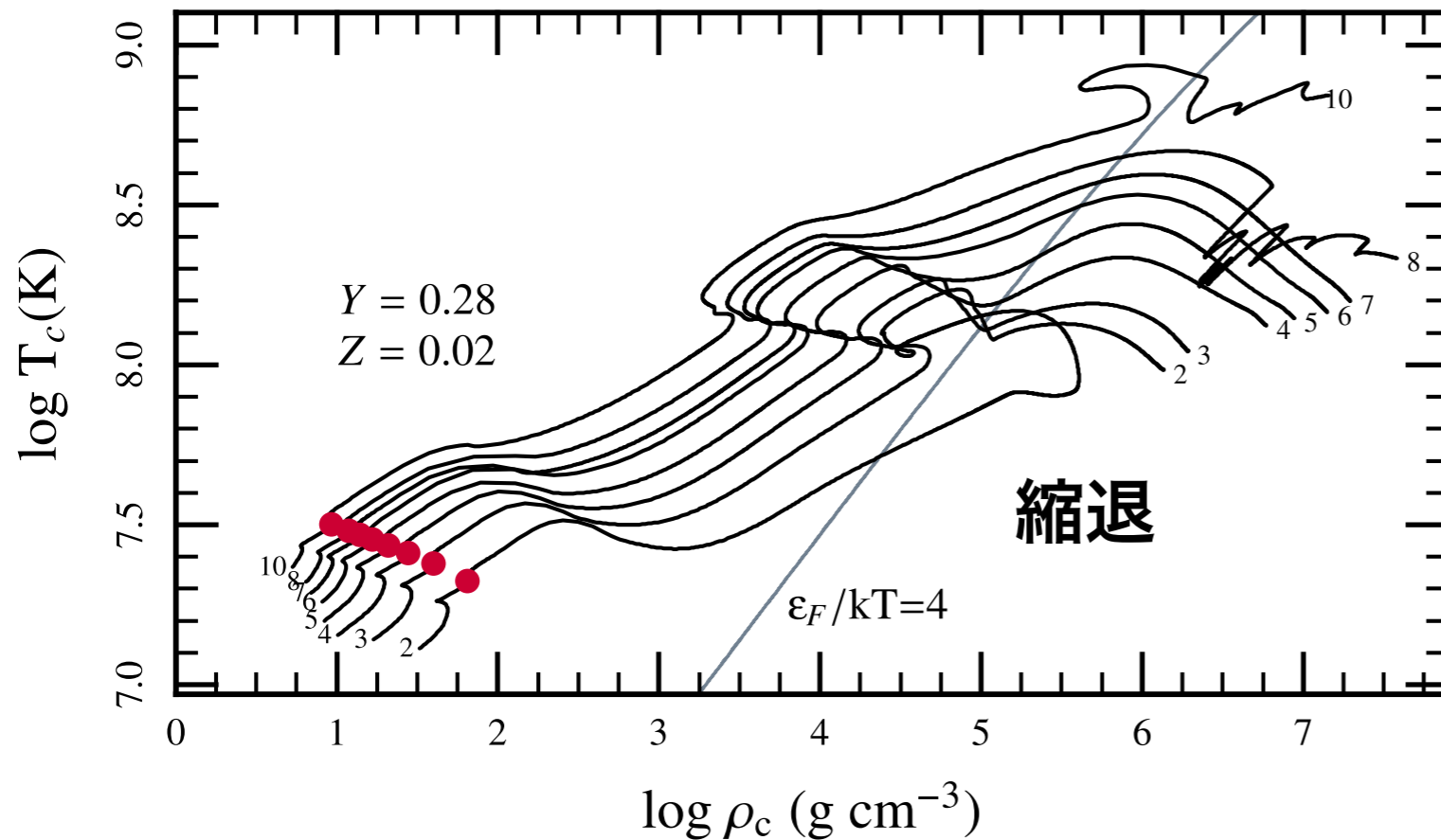
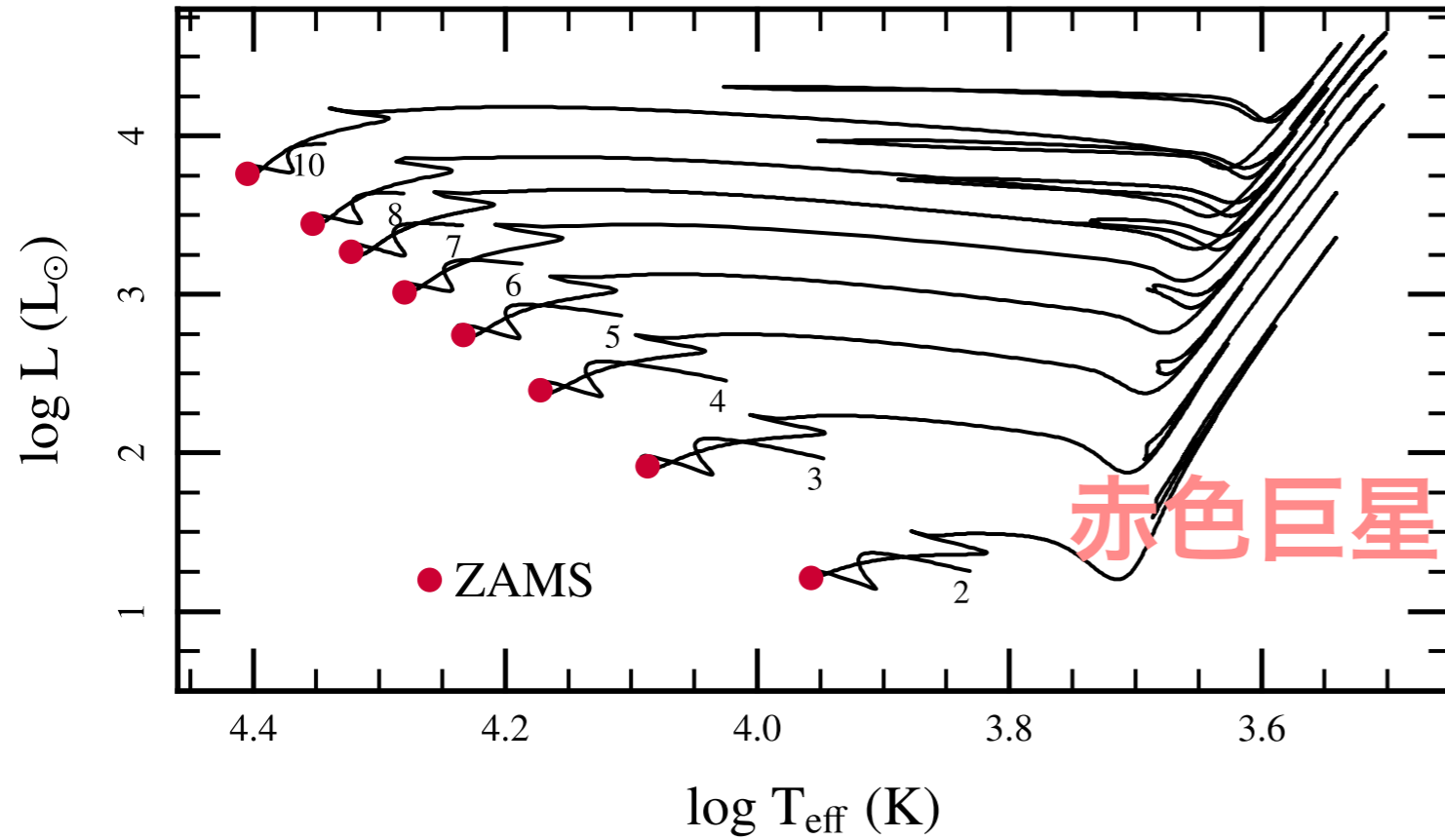


コアが収縮 => 外層は膨張

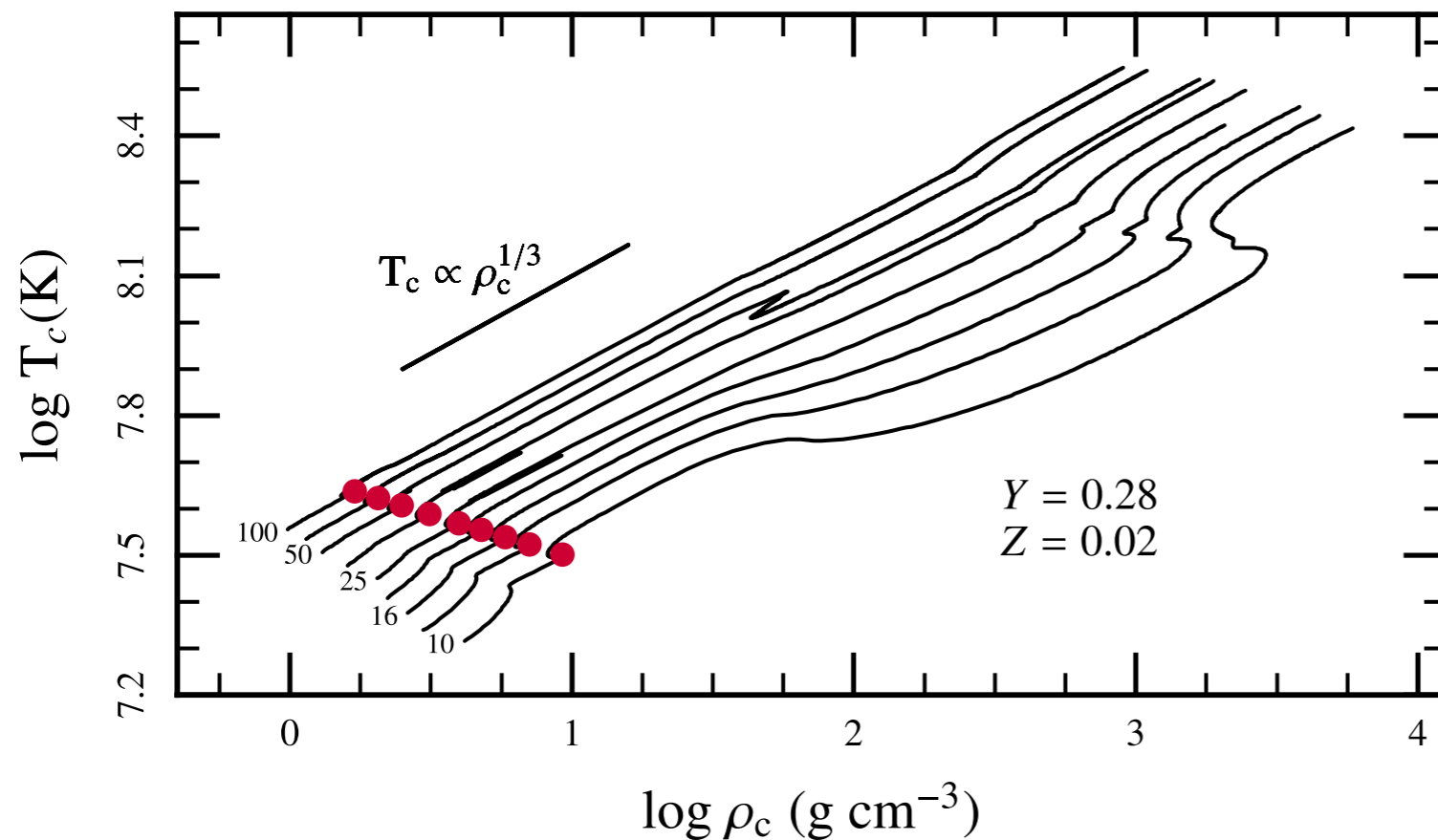
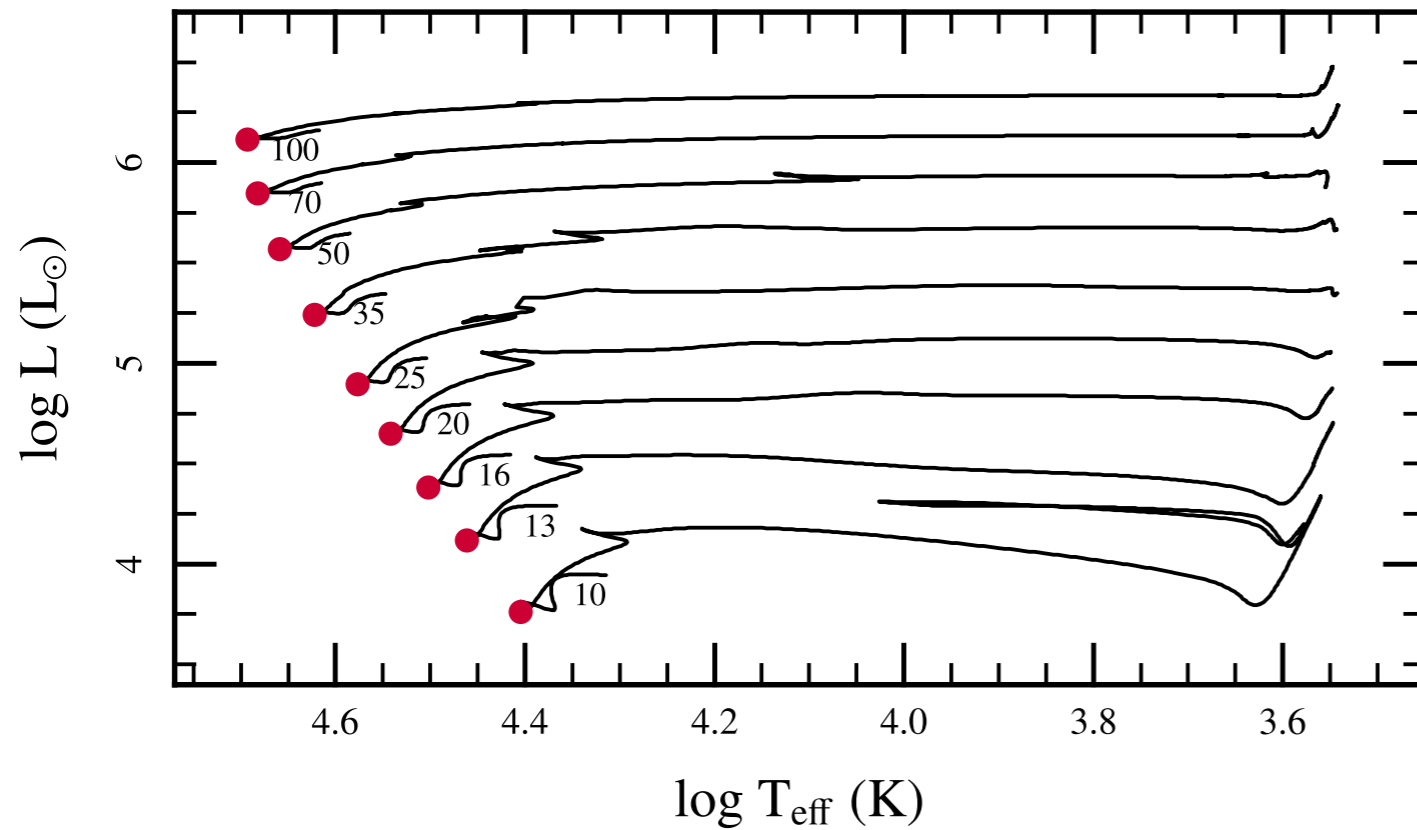


表面温度が下がる => 「赤色巨星」

低・中質量星の進化

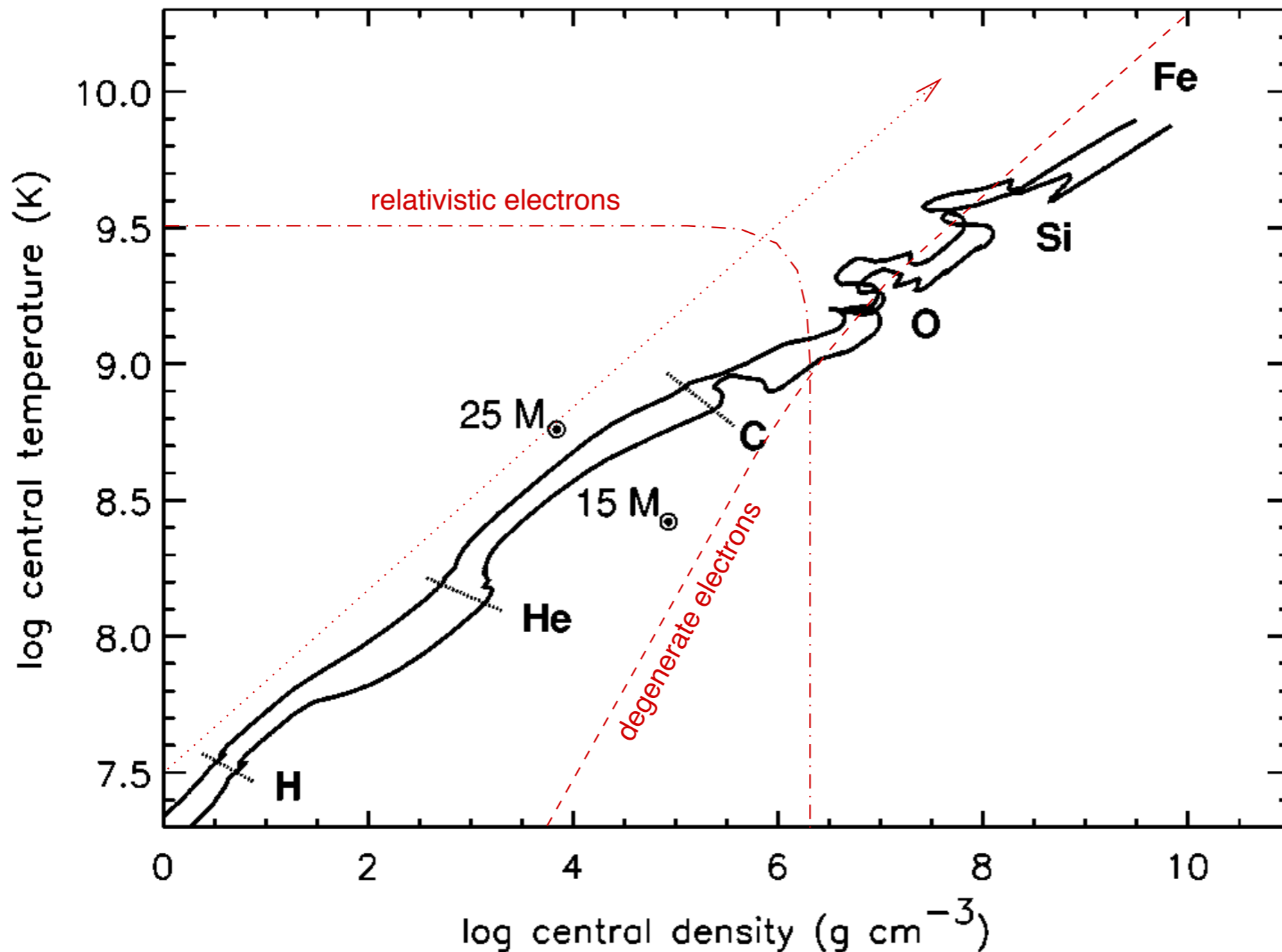


大質量星の進化 (ヘリウム燃焼まで)



大質量星の進化 (ケイ素燃焼まで)

Finally degeneracy pressure becomes important



まとめ: 星の進化 (2)

- ガスのミクロな性質 => 星のマクロな性質

- 状態方程式

- 理想気体 $P \sim \rho T$
- 縮退圧 $P \sim \rho^{5/3}$ (non-rel)、 $P \sim \rho^{4/3}$ (rel)
- 輻射圧 $P \sim T^4$

=> rho-T 平面の異なる領域で重要に

- 星の進化

- 低質量星: 縮退圧で支えられる => 収縮しない
=> 温度が上がらない => 核融合の終わり
- 大質量星: 鉄まで核融合が続く